

i-report

いちのせきレポート 2011.11.21

一関出張所
一関市狐禅寺字石ノ瀬155-81
Tel:0191-23-2435
Fax:0191-23-6841

一関遊水地見学会「気象災害と一関遊水地」

11/19(土)、国土交通省一関防災センター(あいぽーと)において、気象災害と遊水地をテーマに一関遊水地見学会を開催しました。一関市内にお住まいの方を中心に31名に参加頂き、木村出張所長による異常気象がもたらす災害と一関・平泉地区の治水対策、東日本大震災における国土交通省の活動についての室内講義の後、バスに乗り込み遊水地内を移動しながら、現在施工中の工事・遊水地事業の進捗状況について見学頂きました。参加者からは、小堤の計画高など事業計画や遊水地事業完成による効果、第2遊水地長島地区小堤盛土現場で見た普段目にする事が無い砕石と河川敷の土砂を混合する機械や重ダンプの操作や運搬方法など数多くの質問が出ていました。

☆参加者の皆様から寄せられたコメントを幾つか紹介させていただきます。

- 大きな水害を被った歴史のある一関であるが市民は遊水地の意義を多く知らず人ごと(危険をはらんだ土地に住んでいる)と感心すらもっていない現状を打壊することが必要と常々思っています。
- 国土交通省の活躍が見えないところで発揮されていることがよく分かりました。土盛の現場見学は個人ではできないのでとても有意義でした。ありがとうございました。
- カスリン・アイオン台風で両親は財産を流されたそうです。犠牲者や被害が出ないように1日でも早い遊水地事業の完成を願っております。
- 遊水地の近くに住んでいながら詳しいことが分かりませんでしたので、今回見学をし、「百聞は一見にしかず・・・」でした。北上川、磐井川と緑のある私達の生活を守るために世紀の大事業に従事している関係者の皆様に感謝申し上げます。



室内講義の様子。東日本大震災の貴重な映像に声を上げる参加者も。



展望広場での様子。遊水地について参加者から多くの質問が出ました



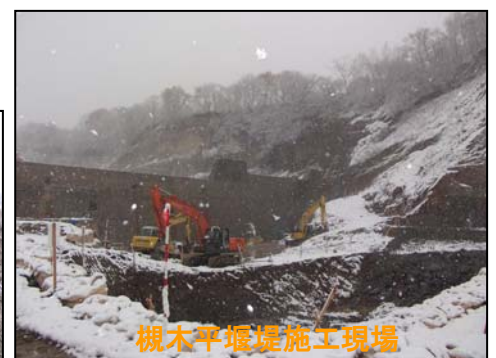
小堤盛土現場の様子。間近で見る施工機械に興味津々でした。

初雪の中、鋭意作業中～直轄特定緊急砂防事業～

11/21(月)の栗駒山系市野々原2号堰堤工事と同槻木平堰堤工事の様子です。初雪で周囲が雪化粧していました。これから日も短くなり、更なる積雪が予想される当現場ですが、安全には十分注意して、作業を進めて行きます。



市野々原2号堰堤施工現場



槻木平堰堤施工現場